



牛久のお宝

問 文化芸術課(中央生涯学習センター内) ☎871-2300

第6回 刻印のある耐火煉瓦



耐火煉瓦
(長さ約20cm)



旧洗滌場

シヤトーカミヤ旧醸造場施設は、平成23年の東日本大震災で甚大な被害を受け、同年12月から災害復旧工事が行なわれました。平成25年には、旧洗滌場内部の耐震対策工事に伴う発掘調査が行なわれ、床下から未知の煉瓦積み窯跡や煙道跡が発見されました。窯跡からは、耐火性のある耐火煉瓦がたくさん見つかっています。耐火煉瓦には刻印があり、「MITSUSHI」は岡山県、「SYOWAYOGYO」は北海道で作られることがわかりました。「S

HINAGAWA」はかつて東京都にあった品川白煉瓦株式会社で製造したもので、世界文化遺産の富岡製糸場(群馬県)でも見つかっています。最も多く出土した「AJIYA」は、どこで作られたものなのか、現在のところわかっていません。

◆今回紹介した耐火煉瓦は、中央生涯学習センター展示ホールで展示中

里山の樹木

問 都市計画課
☎内線2524

第26回

イヌガヤ



イヌガヤの樹冠及び球果：城中町の斜面林 平成23年10月9日撮影

一見カヤとよく似ていますが、イヌガヤ科イヌガヤ属の常緑針葉樹です。カヤはイチイ科カヤ属でイヌガヤとは別科別属。簡単な見分け方としては、カヤは葉先が鋭く尖っていて触ると痛いですが、イヌガヤは触っても痛くありません。国内では本州、四国、九州の山地に、

塚昌宏

【資料提供】NPO法人うしく里山の会(文章：秋山侃、写真：戸山)

牛久市内では主に斜面林に生育しています。雌雄異株で8〜10mになります。早春に開花し、10月に果皮が紅紫色で丸みのある倒卵形の果実を付けます。カヤの実はそのまま食べられますが、イヌガヤの実は堅くて食べられません。そんなことから、イヌという不名誉な接頭語が付けられたと思われま。しかし、昔は胚乳から油を採り、灯火用にしていたということです。 ※牛久の里山樹木ハンドブック74ページに掲載。本に関するお問い合わせは牛久自然観察の森(☎874・6600)まで。

「牛久の巨樹」発売中 ※お求めは都市計画課まで(1,200円)

文芸さろん | 如月 |

朝日さすオレンジ瓦白き壁	朝餉の匂い冬木立の向こうに	木洩日を浴びておしゃれな老夫婦	冴ゆる街手合わせ祈るルミナリエ	風邪の児が片目をあける針の先	茶の花のしべ美しく品もあり	紺碧の空どこまでも初氷	男手のあねさかぶりの煤日和	煤払い梁に埒の青大将
きみさん	渡辺さん	あおたん	サッコ	康子	空 涼	一朵		



◀渡辺さん

【作品募集】イラストや俳句、川柳、短歌など
【あて先】〒300-1292牛久市中央3-15-1
「広報うしく文芸さろん」係 FAX：873-2512
E-mail：kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp
【記載事項】作品、氏名、電話番号、匿名希望の方はその旨(ペンネームもOK)